

協働事業提案書

No. 11

1. 事業名	ボランティア預託 LOVES
2. 提案者	山口久子
3. 事業の目的	LOVES を使って、ニーズや社会資源を発掘し、意志ある個人や社会資源、ニーズをつなぎ、事業などをコーディネートする。
4. 事業の内容	<p>現在、ボランティアセンターや、ボランティア講師に登録している人を中心に LOVES の使い方などを普及し、意志ある個人を募り、LOVE を媒体とした、たすけあい、相互扶助を促進する。</p> <p>これまでの単発的・一方的なボランティアから、継続的・相互的なたすけあいのシステムをつくりたい。</p>
5. 提案の理由	<p>LOVE は大和市の通貨なので、行政と市民が協働で普及、推進することがポイントと考える。</p> <p>行政のいろいろな部署と市民との協働により、縦割りといわれる行政の横の連携をつくるきっかけにもなればと考える。(これまで、市の提供する LOVES に期待してきたが、「LOVES は情報政策課のもの」というだけで、市の行政の内部で LOVES についての推進意識が徹底されていないと感じた)</p> <p>LOVES のモデル事業の募集があるが、市民だけでの事業とならず、行政との協働でのモデル事業を行いたい。</p>

<p>6 . 市に期待する 役割</p>	<p>・情報の提供・共有 . 活動場所の提供 ・広報活動 . 説明会等への参加 ・行政機関等との連絡調整 6 . その他 { ご自由にお書き下さい。 }</p>
<p>7 . 事業期間</p>	<p>2005 年 9 月 ~ 12 月</p>
<p>8 . 事業に要する 経費</p>	<p>関連行政部署と相談して、かかる費用は、 LOVES のモデル事業に応募し、その中でまかないたい</p>
<p>9 . 事業の効果</p>	<p>・市と市民の協働で、LOVES の実験事業をするということで、LOVES への期待感をつくり、“円”に頼らないLOVESをつかった大和市の事業をつくる。</p>
<p>10 . その他</p>	<p>私は、クラママでクラという地域通貨をつくり、その経験から、地域通貨は、そのメンバーのニーズと資源を発掘するのに、とてもいいツールだということがわかりました。大和市のレベルで、LOVES を使い、市民のニーズと資源をつなげることができれば、それは大和市の自治につながるような気がします。</p>